



# 筑豊トライ

## NO.33

2020年 5月 14日  
発行者：JR九州労組中央本部筑豊支部  
発行責任者：南 真一 編集責任者：中村政和

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況のなか、日々の業務に従事していただき誠にありがとうございます。

また、日頃からの組合活動に対するご理解・ご協力をしていただき深く感謝申し上げます。

こうした状況の中、ワンマン運転列車の運転士に対する感染拡大防止について会社と協議を行っていましたが、要求課題が一部実現し感染拡大防止対策が実施されることとなりましたので、ご報告します。



### ワンマン運転列車の運転士に対する感染拡大防止についての対策について

#### ☆対策 その1

##### ○実施内容

新型コロナウイルス感染対策の一環として、車内収受区間におけるワンマン運転列車において、車内換気のため、一部の駅で「全車扱い」によるドア扱いを行う。なお、運賃収受方式は変更しない。  
また、「全車扱い」を行った駅では整理券が発行されないため、お客さまの深刻により運賃を収受する。

##### ○実施駅

概ね15分に1回程度の頻度で実施できるよう駅を指定する。

##### ○ドア取り扱い方法等(指定駅)

- ①通常どおり駅に到着(ワンマンの自動放送は変更しない)
- ②「全車扱い」を行う(携帯時刻表に「全車扱い」であることを記載する)
- ③車内収受を行う ※一部車両で、「全車」でドアを取り扱った場合、シャッターが閉じる運賃箱は、運賃収受前に強制スイッチを取り扱う必要がある。
- ④指令連絡は必要なし

##### ○お客さまへの周知など

始発駅や時間のある駅において、運転士による車内放送の実施対象線区の駅にはポスターを掲出

##### ○社員周知

点呼・掲示等で周知

##### ○実施期間

4月23日以降、準備でき次第。期間は別途指示するまで。

#### ☆対策 その2

##### ○実施内容

車内収受を行うワンマン運転列車の運賃箱上にビニールシート等を取りつけることにより、対面で運賃収受を行う際の新型コロナウイルス感染拡大防止を図ることとする。

#### 【対策実施写真】



LINE@



JR九州労組 公式アカウント  
ID・・・@yqw2478t